

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 1	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名		臼杵市漁業担い手育成交付金事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-21	安定的な水産業経営の充実							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>漁業者の高齢化に伴い、漁業従事者数が激減しており、漁業就業者の確保が重大な課題となっています。この事業は本市において新たに漁業を開始する方が円滑に漁業に従事できるよう、就業初期段階における資金の給付を行うことにより、漁業への就業と定着を図り、将来の水産業を担う人材を確保・育成することを目的としています。</p> <p>平成30年度申請の1名に対し定着支援の継続をしています。令和2年度は新たに正組合員になった2名に対し、就業奨励金の交付や定着支援の交付を行いました。</p>								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	担い手育成交付金実績人数	後継者・新規就業者の人数	人	2	1	0	2	2
		②	相談窓口での相談件数	窓口への相談件数	件	2	1	1	2	2
③	担い手育成交付金金額	交付金額	千円	4,200	3,300	3,600	2,200	5,880		
④										
事業対象	漁業就業予定者	成果	2名の漁業後継者が本事業の補助金を活用し、就業しました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	担い手育成交付金実績人数(延べ人数)	後継者・新規就業者の人数	人	4	5	5	7	16		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	2,200						2,200

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		漁業従事者の確保・育成のため、新たに漁業従事を検討している方を対象とした本交付金制度は必要であると考えられます。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		大分県漁協に漁業後継者や新規就業者の窓口を担ってもらうことで、漁業者間調整にかかる事務が軽減されました。
事業の問題・課題		市外からの新規就業者に対する受け入れ態勢が確立しておらず、本事業の広報に係る取組や、指導者とのマッチングサポート、住居の紹介など移住に向けた支援の取組の強化が必要です。			
具体的な改善案	今年度、新規漁業者の確保のため漁業就業フェア関係者とともにリモートにて参加しました。来年度も、漁協臼杵支店及び県と受け入れ態勢や指導者とのマッチングサポート協議を重ねていくとともに継続して臼杵市のブースを設置します。また、住居の紹介など移住支援部署との連携も図っていきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	高齢化により漁業者が減少していく中、後継者として就業しやすい環境を整えることは必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 2	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名		臼杵市ものづくり産業促進事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	市内の製造業を営む中小企業の成長を促進し地域経済の活性化を図るため、生産力の向上や競争力強化のために行う設備投資に対しその費用の一部を助成しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	補助金交付金額	補助金交付金額	千円	9,755	6,916	7,150	10,177	8,000
		②								
	③									
④										
事業対象	市内の製造業を営む中小企業	成果	8件の中小企業者が本事業を活用し、生産拡大や効率化を図るために行う新規設備の導入を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	補助金活用件数	本事業の補助金を活用した中小企業者数	件	H29	H30	R1	8	10		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	10,177						10,177

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		本事業により市内製造業者の積極的な設備投資につながることも、設備投資の際に市内業者に発注させることで地域経済の活性化にも寄与しています。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		小規模事業者新規展開事業と併せて運用することにより、事業者の設備投資を効率的に支援することができます。
事業の問題・課題		本事業を活用する事業者は一定程度いますが、さらに様々な分野の製造業者に活用してもらうことが課題です。			
具体的な改善案	製造業を営むより多くの中小企業に活用してもらえるよう、商工団体と連携して更なる周知を図っていきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	本市の基幹産業である製造業の設備投資を支援することで、産業・経済の活力を生み出すことができます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 3	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名		空き店舗等活用促進事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ソフト		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	市内商店街地域の活性化を図るため、対象区域内の空き店舗等を有効活用し商業振興・地域振興を図る事業者に対し助成を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	空き店舗等活用促進事業相談件数	相談件数	件	-	6	8	6	6
		②								
	③									
④										
事業対象	事業者	成果	2件の補助金活用があり、市内中心部の空き店舗減少及び活性化が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	補助金交付件数	補助金交付件数	件	-	6	5	2	4		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,800						1,800

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	空き店舗等を活用する事業者への助成を行うことで、空き店舗が減少するとともに、商店街及び中心市街地の活性化につながっています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	事業者によって空き店舗が活用されることによって生まれる経済効果に加え、事業者が商店街組合、商工会議所等の団体に加入することで、まちづくりの活性化にも寄与しています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	事業者の民間活力による空き店舗活用を図ることで、行政単体で維持管理等を行うことに比して、効率的に効果を出すことができます。
事業の問題・課題	賃貸するために修繕や住居部分との分離が必要などの理由により、一部空き店舗が活用不可になっているため、対象区域内の賃貸可能な空き店舗の数が少ないです。			
具体的な改善案	現状活用不可の空き店舗所有者に対し、賃貸物件として活用してもらえよう働きかけていきます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内中心市街地等において空き店舗が増加する中、本事業により空き店舗が活用され、中心市街地の活性化を図っていくことが必要です。
------	---------------	----	--

白杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 4	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名	創業支援事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
基本項目	事業内容 (経緯)	新たに創業する人に対し創業時に必要な初期費用の一部を助成しました。 また、創業希望者等を対象とした、創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業(創業支援セミナー)を開催しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	創業支援セミナー開催回数	創業支援セミナー開催回数	回	2	2	2	2	2
		②	創業支援セミナー参加者数	創業支援セミナー参加者数	人	27	24	15	10	20
	③	補助金相談件数	補助金相談件数	件	8	6	5	6	7	
	④									
事業対象	創業者及び創業予定者	成果	3件の創業者が本事業の補助金を活用し、起業しました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	補助金交付件数	補助金交付件数	件	6	4	4	3	5		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	3,999						3,999

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		創業支援セミナーにより創業人材を育成するとともに、創業時に必要な初期費用の一部を助成し市内業者に発注させることで、地域経済の活性化にも寄与していると考えられます。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		空き店舗等活用促進事業と併せ、創業者に対する効率的な事務事業の執行が図られていると考えられます。
事業の問題・課題		本事業を活用した創業者及び企業が今後も成長し続けていくよう、定期的なヒアリング等が必要であると考えます。			
具体的な改善案	おおいたスタートアップセンター等の創業支援団体と連携し、創業予定者の把握に努めるとともに、創業者が成長できるよう定期的なヒアリング等を行います。				

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	創業に意欲ある市民や移住希望者の方が増えているため、今後も支援対策を強化していく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 5	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名	企業立地促進事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	企業立地促進条例に基づき、企業の立地及び設備投資を促進し、産業の振興及び雇用拡大を図ることを目的に助成措置を講じました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	企業立地条例に基づく助成	助成件数	件	2	4	6	5	3
		②	地場企業への訪問	企業に対する事業説明の訪問件数	社	21	100	100	70	100
③										
④										
事業対象	市内立地企業及び増設企業	成果	企業の設備投資に対し助成を行うことで、産業の振興及び雇用機会の拡大を図りました。5事業者に対し助成を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	企業立地促進条例に基づく助成	助成実績額	千円	10,100	40,000	47,163	46,500	30,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	46,500				46,500		

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	国内での企業誘致環境は厳しい状況となっている中、設備投資や規模拡大などを検討している企業に魅力と感じてもらえる助成制度は必要であると考えられます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	5社(新規2社、継続3社)へ助成しており、産業の振興及び雇用の拡大が図られました。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	助成を受けるためには市民の雇用を創出することが必須となるため、地場企業の強化以外にも雇用創出ができているため、適切だと考えています。
事業の問題・課題	新設3名、増設1名を確保するという、雇用拡大に係る助成金交付条件により事業の活用を控える事業者がいる可能性があります。			
具体的な改善案	本事業が市内雇用拡大を図ることを目的としていることを企業に理解いただき、企業誘致及び増設による産業振興を図ります。また、企業の情報収集及びニーズ調査を実施し、これまで以上に中小企業が活用しやすい制度にしていきたいと考えます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	本市の若者世代を主とした安定的な雇用創出と定住、産業の振興のため、継続して支援策を行っていく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 6	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名	臼杵市小規模企業者新規展開事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致							
基本項目	事業内容 (経緯)	市内の卸売業・小売業・飲食サービス業を営む中小企業の設備投資の促進及び経営基盤強化を図ることを目的に、新規展開や機能向上につながる店舗の改修や設備の更新等に対しその費用の一部を助成しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	補助金交付金額	補助金交付金額	千円	3,278	7,246	5,196	1,652	8,000
		②								
	③									
④										
事業対象	市内の卸売業・小売業・飲食サービス業を営む中小企業者	成果	4件の中小企業者が本事業を活用し、新規顧客の獲得や効率化を図るために行う新規設備の導入を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	補助金交付件数	補助金交付件数	件	6	9	10	4	8		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,652						1,652

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		本事業により市内商業・サービス業の積極的な設備投資が図られるとともに、市内業者に発注させることで地域経済の活性化にも寄与しています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		本事業により市内の卸売業・小売業・飲食サービス業を営む中小企業4社の事業新規展開や経営基盤強化が図られました。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		ものづくり産業促進事業と併せて運用することにより、事業者の設備投資を効率的に支援することができています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	新型コロナの影響により設備投資や事業拡大を控える企業が増えたため、昨年度と比較して交付件数が減少しました。			
具体的な改善案	より多くの企業に活用してもらえよう、商工団体と連携して更なる周知を図っていきます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内卸売業・小売業・飲食サービス業の魅力の創出により、顧客の拡大や事業継続・承継につながっていきます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 7	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名	臼杵市ブランド開発支援事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市の農林水産物等の地域資源を活用した安心安全で魅力ある特産品の開発、加工、販売や販路拡大などの主体的な取り組みを支援することにより、特産品のブランド化、地産地消の促進等地域産業の活性化を図ります。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	新商品開発の個数	新たに研究開発された試作品及び商品の個数	個	10	6	2	2	10
		②	外部講師によるセミナーの実施回数	加工食品についてのセミナーの実施回数	回	1	2	2	0	3
③										
④										
事業対象	農林水産加工等を行う組織、食品加工業者など	成果	商品化促進支援事業及び販売力強化事業を1事業者が活用し、臼杵ブランド認証品「うすきの地もの」をめざせる新たな商品が2品完成しました。また、臼杵ブランド認証品が新たに13商品認証されました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	臼杵ブランド認証品数	臼杵市のブランド認証制度による特産品のブランド認証の数	個	43	25	8	13	15		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,284						4,284

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農林水産物等の地域資源を活用した商品開発や改良、販路拡大に取組む事業者へ支援を行うことは、新商品の開発や商品価値を高めることにつながっていると考えます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		コロナ禍で新商品の開発や既存商品の改良に取り組む事業者が増加しており、6次産業化の推進を図ることができていると考えています。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		民間事業者が主催する商談会や催事などに参加することで、独自で事業を行うよりも効率的に効果を出すことができます。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	新商品開発だけでなく既存商品の改良や新しい生活様式に対応したECサイトの運営などに使える補助制度であることなども周知し、活用する事業者を増加させることが必要です。			
具体的な改善案	成功事例も紹介しつつ、既存商品の改良やEC販売の運営による販路拡大の事業に使える補助制度であることを事業者に分かりやすく周知していきます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵ブランド「うすきの地もの」を更にブランドとして確立するとともに、販売力の強化等を行っていく必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 8	産業促進課	商工労政グループ

事務事業名	サーラ・デ・うすき管理・運営事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	サーラ・デ・うすきは、「臼杵の台所」を基本コンセプトに「臼杵の食」についての情報発信を行い、中心市街地の賑わい創出施設として、季節に応じた各種イベントの開催や装飾、特産品の販売などを行います。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	臼六オープンラボの利用状況	利用者数	人	145	312	400	244	500
		②	つまみキッチン利用状況	利用者数	人	916	1,270	1,462	377	1,500
	③									
	④									
事業対象	市民及び観光客	成果	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光交流プラザや商店街と連携した食に関するイベント等の開催ができず、本来の目的である中心市街地の賑わい創出ができませんでした。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	来場者	サーラ・デ・うすき 来場者数	人	82,740	84,312	66,923	43,089	85,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	24,954						24,954

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		臼杵が力を入れている食の情報発信を行うことで、臼杵市のPRにつながっていると考えられます。また、中心市街地に立地し、にぎわい創出のイベント等を行っており、市民団体のイベント会場として活用してもらっています。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		季節によっては、催しが無い期間があるので、市主催の催しのほか他団体が行う催しを誘致するなどして、常に賑わいが生まれる施設にし、管理・運営を効率化する必要があります。
事業の問題・課題		個人で臼六オープンラボやつまみキッチンを利用する方がまだまだ少ない状況です。また、今年度出店が決まったフードコートの出店者とともに臼杵の食材の魅力を発信するための方法を検討する必要があり、来場者数をいかに増やしていくかが課題です。			
具体的な改善案	農産物の生産者や漁業関係者と連携し、臼六オープンラボやつまみキッチンで実演講習会等を実施しながら利用促進に努めます。また、フードコートの出店者と連携を強化し、メディア等を活用しながらさらに臼杵の食の魅力を発信し来場者数を増やしていきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	サーラ・デ・うすきを核とした、まち中の賑わい創出と中心市街地の活性化を図っていく必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 9	産業促進課	臼杵ブランド推進室

事務事業名		種子島周辺漁業対策事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-21	安定的な水産業経営の充実							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	漁協の施設整備と漁業振興を目的に、本補助金の水揚げ荷さばき施設設置事業及び製氷冷蔵施設設置事業を活用し、荷揚げ作業クレーンの設置と冷凍冷蔵庫の改修を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	補助金交付金額	補助金交付金額	千円	3,722	3,285	-	8,348	-
		②	装置設置件数	施設設置件数	件	3	1	-	2	-
③										
④										
事業対象	漁業従事者	成果	水産物の荷揚げ作業の効率化と組合員の労働環境の改善が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	水揚げ金額	漁協臼杵支店における生産額	千円	526,042.0	421,869	503,092	330,448	330,448		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,348						8,348

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	老朽化や整備の遅れている漁協の施設整備が促進されることにより、活魚の販売額向上などの水産業の活性化につながります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	水揚げ荷さばき施設等の設置により水産物の荷揚げ作業の効率化が図られ、組合員の労働環境の改善による漁業経営の安定化につながります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	国・県の補助事業を活用することにより本市の財政的な負担や事務量が減るとともに、荷揚げ用走行クレーン等は耐用年数が10～17年と長期的に使用できるため効果があると考えます。
事業の問題・課題	市内漁港には老朽化した施設も多くあり、今後水産業の活性化・振興を効果的に行うためには省力化・効率的な漁業近代化を図ることが必要です。			
具体的な改善案	今後、漁協や漁業者と協議のもと、国や県の支援をいただきながら計画的な更新を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	漁業関連施設等漁業基盤の整備を行うことは、漁業の維持・振興のために必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 10	おもてなし観光課	観光振興

事務事業名		うすき竹宵事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	<p>市内中心部の二王座歴史の道や歴史文化的な景観などを竹ぼんぼりや趣向をこらしたオブジェが幽玄的に映し出す「うすき竹宵」は24年目を迎えました。秋の城下町に映し出される竹灯りは来訪者の心を引きつけます。大分県を代表する祭りとして、中心市街地の活性化はもとより観光産業全体への活力につながります。</p> <p>コロナ拡大につき規模縮小開催を目指して進めていましたが中止となったため、希望者に竹ぼんぼりを配布して自宅での竹宵を呼びかけました。熊本市や人吉市の団体が行う催しに協力するなど次年度以降の竹宵実施に繋がる取組みを行いました。</p>								
	行動指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値
		①	竹宵実行委員会会員の確保	実行委員会会員数	人	H29	H30	R1	128	130
		②								
		③								
④										
事業対象	観光客、来訪者	成果	令和2年度の竹宵はコロナの拡大により中止となりました。星の宵で使用予定としていた竹ぼんぼり1,500本以上を希望者に配布し、家庭でも竹宵の気分を楽しむことができました。							
成果指標		指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
	来場者数	開催エリアの来場者数	万人	H29	H30	R1	0	10		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	267						267

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		「うすき竹宵」は、臼杵市の誇れる大きなイベントであり、経済効果や地域の活性化に必要不可欠なものになっています。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		コロナウイルス感染症の影響により事業実施を見合わせたため、例年の有効性の評価はできませんでしたが、使用された竹材は堆肥の原材料や竹炭として再利用されていることから、循環型社会構築の一翼を担っています。
B		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		コロナウイルス感染症の影響により事業実施を見合わせたため、例年の効率性の評価はできませんでした。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	実行委員会全体の会員数は維持していますが、主体となって活動する会員(特に若手)が不足しています。人材確保・育成に取り組む、次世代へ繋がる組織づくりが必要です。			
具体的な改善案	ボランティアや制作団体の募集に加え、今回初めて竹宵執行部を公募したところ、1名の方が応募されました。引き続き、Facebookや公式HP、市報などで広く呼びかけて新しい人材を確保し、竹宵執行部を中心に組織の活性化を図ります。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵市を代表するイベントであり、官民協働で開催され経済効果や地域の活性化に不可欠です。継続可能な規模等も検討する必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 11	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名	臼杵駅観光案内所設置委託事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	観光客の利便性向上を図るため、臼杵駅構内に観光案内所を設置するとともに、訪日外国人観光客への対応として英語を中心とする多言語対応ができるスタッフを配置し、観光情報発信を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	開設した日数	案内所を開いた日数	日	-	-	361	355	365
		②	観光客の対応	観光案内した総人数	人	-	-	4,925	1,710	7,000
成果指標	③	外国人観光客の対応	外国人観光客へ観光案内した人数	人	-	-	1,151	9	1,800	
	④									
事業対象	観光客	成果	臼杵駅にお越しいただいた観光客1,710人(うち訪日外国人9人)に対応しました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	対応した観光客へ満足のいく回答ができたか	満足のいく回答が出来た延観光客／延観光客	%	-	-	100	100	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,858						4,858

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		JR利用の観光客に対しての観光案内として必要ですが、土産品等の販売ができるとより利便性が上がると考えます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		コロナウイルス感染症の影響により対応した人数は少なかったが、周遊した方からは本市の新しい発見ができ満足したとの声が聴けました。
B		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		コロナウイルス感染症の影響により乗降者数が大幅に減少しており、効果は少なかったと考えます。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	外国人スタッフが単独で一般事務処理を務めるとともにJR売店跡を効果的に活用するなどして、総合的に観光案内を行うなど改善が必要です。			
具体的な改善案	適正な開所時間や勤務体制、人数整理、JR売店跡の活用を検討し、運営の効率化を図ります。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	コロナ禍で観光客は減少していますが、観光案内機能は今後も重要と考えています。隣接しているJR売店跡を効果的に活用することで情報発信機能の強化につながると考えています。
------	------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 12	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名	臼杵市観光情報協会補助事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市観光情報協会は、観光で臼杵市を訪れる人といった交流人口の増進を図り、臼杵市の魅力を発信するため各方面へPR活動などを行っています。観光客受入れのための各種施策を協会員とともに立案する活動に対し補助するものです。コロナの影響によるイベント中止や旅行の自粛などあり、積極的な活動ができませんでした。コロナ対策臨時交付金を活用して、Gotoキャンペーンと併用したイベントやキャンペーンなどに対して補助を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	エーエージェントへの誘致活動数	エーエージェントへのツアー造成交渉回数	回	63	60	50	1	80
		②	メディアへの情報提供数	メディアへの観光情報提供回数	回	1,458	1,566	468	44	1,600
③	観光情報発信サイトへのアクセス数	協会HPアクセス数	回	129,247	140,328	145,752	140,476	200,000		
④										
事業対象	エーエージェント・メディア・観光客	成果	旅行などの自粛・イベント中止等の余波から、エーエージェントやメディアへの情報提供が思うように行えませんでした。リモートでの紹介や愛媛県からのモニターツアーを行い今後につながる取組みに着手することができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	各施設の入込数(石仏、下屋敷、吉丸、野上、サーラ)	1年間の各施設に訪れた観光客数 5施設	人	192,166	199,875	195,010	82,539	269,700		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	119,266		100,406				18,860

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		コロナ禍で積極的な誘客活動が実施できませんでしたが、市内の交流人口増加、ひいては経済活動の活性のために必要と考えます。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		新しいグッズ製作、旅行会社向けのリモート相談会等を行いました。コロナ感染拡大での規制等で予測できないことが多くありました。
B		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		収益事業を行うには補助金に頼らない協会運営を検討する必要があります。(※新組織に運営が代わります)	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	コロナにより変化している観光(内容・規模等)に対応したイベントや情報発信について広域連携による実施が必要です。			
具体的な改善案	マイクロツーリズムを目的として、別府、湯布院などの県内の主要な観光施設及び自治体への積極的な営業活動を行い、広域回遊ルートを構築できるような連携強化を図る。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	法人化された観光推進組織が活動するにあたり、当面は自主財源だけの活動は厳しくあり、市からの補助金(運営補助・イベント補助)は必要と思われます。
------	------------------------	----	---

白杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 13	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名	白杵市観光交流プラザ管理運営事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	白杵市観光交流プラザは、白杵市全体の魅力を発信する役割を担っており、観光施設や市内の街並みへ誘導する最初の場所、また市民も集い交流できるにぎわいの場所となっています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	SNS等を使った情報発信数	FBへの書き込み数	回	80	97	80	81	10
		②	イベントの開催数	特産品のPRを中心としたイベント実施数	回	81	91	63	-	50
③	うすきあるきの定期的開催数	開催数	回	30	22	17	30	30		
④										
事業対象	観光客、来訪者	成果	県内の修学旅行や宝さがし等のイベント、観光施設の情報等を本市を訪れた観光客に情報提供することができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	プラザの来館者数	来館者数	人	47,395	42,991	40,898	39,230	57,860		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	19,643						19,643

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	白杵市観光の総合窓口の役割を担っています。地域観光資源の発表の場やギャラリー展示を開催するなど貸館の充実も必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	コンシェルジュより観光客にきめ細かな観光案内、情報発信を行いました。コロナの影響で来館者数は減少しました。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	中心市街地のにぎわい創出、経済波及効果につながるイベント企画が必要と思われます。	
事業の問題・課題	コロナウィルスの影響で来館者数に影響が出ています。今後も観光客が多く立ち寄るような発信も必要で、商店街を含めたまちなかの方々、料飲店組合、観光情報協会、商工会議所等の関係機関との連携を深めた運営などの創意工夫が必要です。			
具体的な改善案	1階、2階の展示ブース、ギャラリーを広く活用してもらうとともに、SNS等により白杵市の観光情報のきめ細かな情報発信を行います。プラザを活用して、白杵市に興味を持ってもらうような展示や来なくなるようなイベント開催を行えるよう各種関係団体との連携強化を図ります。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市内を訪れる観光客への情報発信施設として重要であり、継続して適切に管理運営していく必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 14	おもてなし観光課	観光振興グループ

事務事業名		航空機機体を活用した地域PR事業					新規・継続 ソフト・ハード	新規 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	県南3市(臼杵市、津久見市、佐伯市)が連携して、それぞれの魅力を航空機の機体を利用して発信するとともに、広域での事業展開や地域PR等、観光振興を図ります。(運航期間:令和2年10月~令和4年3月) 航空機1機を借り上げ、県南3市(臼杵市、津久見市、佐伯市)が共同で作成したパンフレットの機内配布、また機内誌による各市の情報発信、機体外部への大型デカール貼付等にてPRしました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	観光ほか情報発信	機体に搭載(配布)するパンフレット数	冊	-	-	-	61,843	
		②								
③										
④										
事業対象	本機体の搭乗者	成果	就航中の本機体に搭乗した61,843人の乗客に本市をPRしました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	動画の再生回数	SNSリアクション数(インスタ・FB)	件	-	-	-	6,910			

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	792						792

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	企画当時はインバウンドが好調で、東京五輪も見据えていたため、多くの乗客が見込める航空機の活用はPRの絶好の機会ととらえました。
		目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	コロナウイルス感染症の影響により、思うほどの事業展開が図れているといえません。
	有効性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	3市で費用分担しました。コロナウイルス感染症の影響により、思うほどの効果は見受けられません。
効率性				
事業の問題・課題	コロナウイルス感染症の拡大により人の動きが制限されたことで交通機関に影響があり、航空会社も大きな打撃を受けました。限られた便数の中で効果的なPRを図る必要があります。			
具体的な改善案	機内での発信のほか、発着空港で県南3市をPRしたり、SNSを最大限活用して情報発信を行いたいと考えます。			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由	コロナ禍で運休などもあり、思うようなPR展開ができなかった面もありますが、就航期間満了後も連携を続け、3市の魅力を広く発信し広域観光振興を展開したいと考えています。
------	----------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 15	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	臼杵市環境保全型農林振興公社運営支援補助事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
基本項目	事業内容 (経緯)	公益社団法人臼杵市環境保全型農林振興公社の取り組む各種事業は、環境保全、土づくり、有機農業を目指す農家を支援することを目的に実施するものです。よって農林公社が事業を円滑に実施できるよう、補助金を交付しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	有機堆肥等散布面積	有機堆肥等散布	ha	31	31	26	39	31
		②	うすき夢堆肥散布面積	うすき夢堆肥散布	ha	37	43	39	54	48
	③	稲わら等梱包面積	稲わら等梱包	ha	13	16	14	15	14	
④	田畑耕起面積	田畑耕起	ha	5	6	4	6	6		
事業対象	市内農家	成果	オペレーターや事務職員の配置により、農林公社の各種事業を円滑に実施することができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	当期収支決算額	当期収支決算額	円	▲ 23,390	▲ 584,962	35,760	1,881,281	100,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	15,036						15,036

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	理由
	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	農家の高齢化等により、堆肥の運搬散布や田畑耕起などの各種事業は年々必要性が増えています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	
	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	必要なオペレーターの数を確保することで、時間に余裕ができ安全面にも十分に配慮しつつ、農家の希望どおりの日程で事故無く作業ができます。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		
A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	臼杵市内の農地を熟知し、農協と共同出資している農林公社が各種事業を行うことでより効率的な作業ができます。	
事業の問題・課題	農家の減少などにより農作業受託等の収入が減少傾向にあります。		
具体的な改善案	農業者の意向等を把握するとともに、農林振興公社の役割の検討を行う。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農家の高齢化に伴う耕作放棄地や、堆肥の運搬散布などの作業委託の要望は続くため、今後も引き続き農林公社を支援する必要があります。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 16	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		農業後継者就農促進事業(アグリ起業学校)					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-18	雇用の確保・就労支援							
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市アグリ起業学校の農業機械を含む施設整備及び就農コーチを配属することにより、農業研修生が実践的な研修を受講できるよう受入体制を整え、研修後に独立就農できるよう就農支援を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	研修生受入れ組数	アグリ起業学校に入校した研修生組数	組	5	4	2	2	3
		②								
③										
④										
事業対象	就農研修生	成果	研修生が作物の栽培管理だけでなく、農業機械などの動作研修も行うことができ、スムーズに独立就農できるようになりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	研修後の就農組数	研修終了後、臼杵市で就農した研修生の組数(毎年)	組	3	2	4	2	3		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,737					1,737	

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	新規就農者の確保は、農業の担い手確保だけではなく定住促進対策としても重要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	農業の担い手確保とあわせて、臼杵市への定住を促進するため移住支援担当課と連携し、就農と定住の両方ができています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	人口の確保だけでなく、移住者の職業(農業)もあわせて確保できます。
事業の問題・課題	市外からの就農希望者の住居及び農地の確保並びに専任研修コーチの確保が課題です。			
具体的な改善案	圃場の確保、住居の確保、就農にあたっての栽培技術取得、資金の確保について一元的な管理業務を行う必要があります。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農家の高齢化が進む中、新規就農希望者への農業支援策として重要な事業であり、市農業の担い手として育成支援が必要です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 17	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	経営所得安定対策等(直接支払)推進事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	交付金を活用した転作推進のため、市内の水田営農者の作付計画を収集管理し、直接支払となる経営所得安定対策等事業の交付金申請手続きに関する事務補助などを行う、臼杵市農業再生協議会を運営するための事業です。経営所得安定対策等推進事業の推進とともに、同事業の対象者を主とした水田農業者に対し、生産性向上に資する機械導入補助も行い、水田農業者への更なる支援を図りました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
		①	地域農業再生協議会における規定の会合実施回数	協議会の幹事会・総会等の実施回数	回	H29	H30	R1	6	4
		②	「営農計画書」の配布・回収数	協議会把握の水田営農者数(水田0データ除く)	件	2,532	1,314	1,200	1,200	1,100
		③	活用推進説明会等開催数	説明会等の開催数	回	1	1	1	1	1
④	事業交付金活用件数	交付金の申請種類ごと累計	数	888	770	99	85	95		
事業対象	水田・畑作(戦略作物)農家	成果	加工用米や飼料用米、麦・大豆などの戦略作物等による転作推進を目的に絞った交付金等の最大限活用を引続き推進しましたが、水田における病害虫の発生とその対応などもあって申請件数が伸び悩み、園芸品目等の交付総額が前年比で6,275万円の減少となりました。中規模水田農業者への機械導入補助も、新型コロナウイルスによる国の補助事業を優先させた結果、1件のみ導入支援となりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	経営所得安定対策等交付金額	経営所得安定対策等交付金額	千円	H29	H30	R1	105,788	110,000		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	8,609		6,002				2,607

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	目的が市民ニーズに照らして妥当か A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	経営所得安定対策関連交付金の有効活用のため、地域農業再生協議会を運営し、特徴ある産地づくりや農業者の所得向上を目指すことは、地域内農業者のニーズに十分合致していると考えます。
		有効性	A	
	効率性		B	
事業の問題・課題		生産調整(減反)の規制が緩和され、交付金対象件数や交付金額は減少しています。そのような中でも引き続き実施される転作推進関連の交付金については、農業再生協議会へ活用の期待が課せられている状況であります。地域内農家の所得向上に繋がるような国・県の交付金などの有効活用を図っていく必要があります。また、水田農業者や土地の集約化を行うことで生産性の効率化を図り、機械協同利用組合の設立などを促し、機械導入補助の活用を進め、農業者による地域ほ場の集約を行います。		
具体的な改善案	大分県中部振興局や農協などの関係機関と、農繁期前から定期的に情報交換会を行うことで農業者や地域等の情報を共有し、活用できる交付金、あるいは病虫害発生における現状の対応などを協議し、必要に応じてそうした情報を農業者へ周知を行います。また、国・県の新たな補助事業や政策などが打ち出された時は、関係機関と協議して地域の実情や生産者の要望などを協議し、それらに適するものがあれば事業の活用を進めて、生産者の所得向上へ繋げていきたいと思います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業者所得の向上のため引き続き、畑作物や高収益作物への作付け転換などの事業推進を行う必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 18	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	活力あふれる園芸産地整備事業(野菜対策)							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	農村における高齢化や後継者不足により園芸品目の生産面積が減少していく中、農業の担い手である認定農業者の規模拡大や新規就農者確保のため、本事業を活用しハウス施設、省力化機械、集出荷施設等の整備を行います。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	補助対象農家数	受益を受ける農家戸数	戸	133	20	60	27	30
		②	補助受益面積	受益を受ける栽培面積	ha	26	7	30	4	4
	③									
④										
事業対象	農業者	成果	栽培施設・機械の導入による栽培面積の拡大および栽培体制の効率化により、安定した農業経営につながりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	推進品目の栽培面積	ピーマン、ニラ、いちご、甘藷、甘ネギの栽培面積	ha	92	94	96	98	102		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	55,924			42,759			13,165

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		野菜の栽培面積を拡大するためにはハード面の整備が必要です。農業の担い手である認定農業者、新規認定就農者を対象としており、今後の臼杵市農業の振興に効果があります。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		面積拡大による生産量増加、生産設備・機械等の導入による作業省力化・効率化や品質向上が見込め、生産者の所得の向上が図られます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		事業実施により振興品目の栽培面積、販売額が拡大しています。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	アグリ起業学校やファーマーズスクールなどの担い手確保・育成対策により、毎年多くの新規就農者が誕生しています。特にピーマンにおいては生産者数、作付面積ともに年々増加しており、有用な農地の確保が課題となっています。			
具体的な改善案	農業委員会や大分県農地中間管理機構などの関係機関と緊密に連携し、空き農地の情報共有等を行うことで、貸し手と借り手のマッチングに努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	本事業の対象品目(ピーマン、にら、イチゴ等)は、県の戦略品目であり、また、市の振興品目でもあり、面積の拡大や機械導入による省力化などにより経営の安定が図られます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 19	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名		臼杵市茶産地育成事業						新規・継続	継続	
		ソフト・ハード		ハード						
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	(株)伊藤園との産地育成協定のドリンク茶専用茶園80haを目指し、お茶の乗用型摘採機のリース導入に対して補助を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	防霜施設整備面積の増加60ha(1期事業分)	茶園の霜害の解消面積	ha	63	63	64	64	67
		②	遊休農地(畑)の未然防止99ha	茶園面積(遊休農地の未然防止面積分)	ha	83	86	88	88	91
	③	省力化機械導入	乗用型茶園管理機等(累計)	台	7	8	9	10	11	
④										
事業対象	農業者	成果	乗用型摘採機を導入することで効率的な作業体制の構築、省力化を進めることができました。本事業により、次期作以降の生産量の増加、品質の向上を図ることができます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	産地化の確立105ha	茶園面積(累計茶園面積)	ha	11	91	93	94	97		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	5,834		3,500	1,166			1,168

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	乗用型摘採機を導入し効率的な作業体制の構築、省力化を進めることで、生産量の増加、品質の向上が図られ、産地の拡大に繋がります。
		A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	乗用型摘採機の導入は、収益の7割程度が見込まれる1番茶の荒茶単価維持のためには有効で、茶園管理の省力化が図られます。
A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	乗用型摘採機をリースで導入することにより初期投資は抑えられています。また、関係機関による経営指導により、効率的な事業になるよう努めます。	
	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	(株)伊藤園との産地育成協定と安定した経営のため、さらなる園地面積の拡大を求められており、まとまった優良農地の確保など今後も継続した支援が必要です。また、産地拡大が進む中で新たな茶工場の建設について検討が必要です。		
具体的な改善案	茶生産計画・生産施設更新計画・経営計画などの情報を生産者、県、市で共有し、今後の事業計画を策定し計画的に進めていく必要があります。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	茶園面積105haの達成に向け、乗用型摘採機の導入は省力化を含め経営の安定を図れます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 20	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	青年就農給付金事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)	IV-10-18	雇用の確保・就労支援							
基本項目	事業内容 (経緯)	農村地域が抱える「人」と「農地」の問題解決に向け、また、地域の担い手となる新規就農者の確保と営農定着を図るため、就農から経営が安定するまでの間(独立自営就農時から最長5年間)資金を交付することによって、経営支援を行うものです。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	新規就農者確保の取組み	新規就農者相談会の開催(出展)回数	回	16	13	9	4	10
		②								
③										
④										
事業対象	個人農家(独立自営就農時の年齢が45歳未満)	成果	資金を交付することによって、新規独立自営就農者の生活及び経営安定を図れ、担い手の定着と農産地の維持ができます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	新規就農者数(自営就農者)	法人等への雇用就農ではない新規独立自営就農者数	人	18	8	19	13	20		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	62,615			62,614			1

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		投資資金制度によって、就農者を確保し定着させることができました。
		A			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		技術や資金面から発生する新規就農者の経営(離農)リスクを抑えることができました。
A					
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		法令の改正により、所得制限に関する要件が変更され、経営向上への意欲を新規就農者に持たせることができました。	
	A				
事業の問題・課題	資金交付の要件として、対象者が「耕作地域における今後の農業担い手」として位置づけられる必要があり、地域として新規就農者を受け入れ支援していくという雰囲気醸成や、良好な関係の構築が継続して必要です。また、就農者の農地の確保及び住宅の確保が引き続き大きな課題です。				
具体的な改善案	本年度も引き続き、新規就農者の農地及び住宅の確保のため、移住支援担当課と連携した支援を行います。また、新規就農者が就農後も継続的に指導のできる地元生産者(先輩農家)とのマッチングを重視し、支援していきます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農家の高齢化が進む中、新規就農者の獲得は急務であり、若手の新規就農者の初期の経営安定策として有効であり、引き続き取り組みを行います。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 21	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	多面的機能支払交付金事業						新規・継続	継続		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成					ソフト・ハード	ソフト	
	関連施策名(施策コード)	II-5-10	地域内交流・地域間交流							
基本項目	事業内容(経緯)	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るために、地域の共同活動(水路・農道の維持管理等)に係る支援を行うものです。活動は大きく「農地維持支払交付金」(農道の草刈・水路の泥上げ等)と「資源向上支払交付金」(水路・農道・ため池の軽微な補修等)の2つから構成され、令和2年度は、51組織が活動に取組みました。また、新規で設立を希望する地区に新規設立手続きの説明を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	活動組織への説明会開催回数	実績報告や活動内容についての説明会開催回数	回	4	4	4	4	4
		②	事業の周知	未取組地区への事業内容等の広報件数	回	3	3	1	2	4
③										
④										
事業対象	市内各地域の農用地・農業用施設	成果	既に取り組んでいる組織は、活動を計画どおり行い、地域の農地維持・景観形成が図られました。また、1組織が活動期間の更新を行いました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	協定農用地面積	交付金の算定根拠となる農用地の面積	ha	704	715	736	733	735		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	33,677		16,838	8,419			8,420

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	各地区住民(主に農業者)がまとまって、地区の農用地や関連施設を維持・保全管理する活動に役立っています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	計画に基づいた適切な活動(農用地及び農業用関連施設の維持管理)が実施されています。
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がやある C:効率的に効果が出ていない	市の負担は全体事業額の1/4で、農用地や農業用施設の維持・管理・補修が計画的に行われており、多面的機能の維持保全ができています。	
事業の問題・課題	農村環境の維持・保全のために多くの地区がこの事業に取り組めるように、説明会の実施等の働きかけをしました。			
具体的な改善案	担い手が不足する原因である事務処理手続きについて、全組織に事務処理の補助となる冊子を作成し、配布しました。また、組織から活動についての質問があった際には、組織運営に役立つよう手紙や説明会にて全組織に回答を通知しました。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業者を中心に地区住民がまとまって、農地や農道・水路等の施設の維持保全管理に取り組むことで農村環境の保全に役立っています。今後も引き続き事業の推進をしていきます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 22	農林振興課	農業振興グループ

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	中山間地域の農地の保全と水源涵養を目的として、集落での農地の管理・維持を行う計画を基に協定を締結し、面積と活動内容に応じた交付金を交付します。第5期対策として、令和2年度から令和6年度までの5年間実施されます。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	集落協定数	協定を締結する集落数	箇所	15	15	17	16	17
		②								
③										
④										
事業対象	集落協定の対象農用地及び協定参加者	成果	協定に基づく活動により、中山間地域の農用地と関連施設(農道・水路)が適切に管理されました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	協定農用地面積	傾斜度 水田 1/100以上 畑 8°以上	ha	102	100	116	112	115		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	15,737		7,868	3,899			3,970

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	交付金の活用により、協定農用地のみならず、農道・水路の管理や景観作物の植付がなされ、地域の環境保全にもつながっています。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	耕作放棄地の発生の抑止に効果を発揮しています。また、集落活動の活性化にも寄与しています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	市の負担は全体事業費の1/4で、農用地や農業用施設の維持・補修が計画的に行われ、中山間地での多面的機能の維持ができています。
事業の問題・課題	高齢化により、集落のリーダーと担い手が不足しています。			
具体的な改善案	令和2年度から5期対策の5年間が始まりました。5期対策では、ほとんどの集落協定で集落戦略(マスタープラン)を作成する予定です。将来を見据えた計画となるので、担当者も同席してアドバイスするとともに、地域の活性化と新しいリーダーの養成を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	中山間地域の条件不利地域における農地や農業用施設が交付金を活用して維持管理できており、地域の活性化や環境保全が図られています。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 23	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	土づくりセンター管理・運営事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	持続可能な農業振興、おいしくて安全・安心な農産物の提供のためにはミネラル豊富な良質の土が必要であるため、より自然に近い堆肥を人工的に生産し、安全・安心で健全な農業振興を図ります。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	うすき夢堆肥製造量	うすき夢堆肥製造量	t	1,683	1,648	1,550	1,780	1,700
		②								
	③									
④										
事業対象		成果	製造量は昨年比230t増となりましたが、12月～3月に夢堆肥購入者が多く、3月に供給が追いつかない状態となりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	うすき夢堆肥販売量	うすき夢堆肥販売量	t	1,655	1,650	1,508	1,825	1,700		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	54,356					10,000	44,356

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		本来の健全な田畑に戻していくため「うすき夢堆肥」等による土づくりに重点を置き、農業者が取り組みやすい環境づくりを行い、安全で美味しい農産物作りを目指す必要があります。
		目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
	有効性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		堆肥の製造、販売量を計画値まで増やせれば効率性は今よりも改善されます。
事業の問題・課題		12月～3月に需要が集中するため、安定的な供給をすることが課題です。大型機械及び施設等の耐用年数が来ており、機械及び施設の改修工事の経費が多くなります。			
具体的な改善案	事前に材木の破碎を行う等、生産量を増やす実証試験を行います。また11月～4月までの間、予約販売を行い在庫管理を行います。大型機械及び施設改修等の修繕・交換等の計画を立て維持管理を行います。				

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	「うすき夢堆肥」は、土壌改良剤として有機農業のみならず、慣行農業にも使用されており、本市農業の核となるものであることから、今後も安定的な供給体制を継続していく必要があります。
------	------------------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 24	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	ほんまもの里うすき農業推進協議会						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	本市の農業生産基盤をより活用した農産物を生産し、安全・安心な「ほんまもの里・うすき」ブランド確立を目指すため「環境保全型農業の推進」、「競争力のある産地作りの推進」、「地産地消の推進」を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	ほんまもん農産物認証シール配布数	金、緑の認証シール配布数	枚	156,404	125,440	164,797	188,400	200,000
		②	給食地元野菜使用率	野菜の全体重量における臼杵産の割合	%	41	36	43	36	50
③	オーナー農園参加者	玉ねぎ、甘藷、馬鈴薯のオーナー人数	人	265	235	257	269	280		
④	子どもの農業体験数	植付体験、収穫体験等の農業体験回数	回	37	39	43	33	50		
事業対象	生産者・消費者(市民)	成果	各推進事業を行ったことにより、生産者の技術の向上や「ほんまもん農産物」の認知度の向上、収穫体験を通じた子育て世代への食育、市内外から多くの参加者との交流は図れましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により学校給食での利用拡大は前年度を下回りました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	ほんまもん農産物生産者数	ほんまもん農産物生産者数	人	44	54	62	63	80		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	3,300						3,300

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	理由
	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	「ほんまもの里・うすき」ブランド化を推進するためには、PR促進と農産物の安定供給が必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	市内ではイベントでのPR、ほんまもん農産物等の有機農業の取組みの認知度が広がっているが、市外への認知が広まっていません。
	B	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		安心・安全で持続的に発展する農業を確立するため事業計画の見直しが必要です。
B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	有機農業での独立自営農家を増やすためには、担い手育成施策の強化と併せ販路構築及び生産物の安定供給が課題と考えます。また、「ほんまもん農産物」の学校給食への利用拡大に向けた、技術的な指導の強化が必要です。		
具体的な改善案	有機農業の施策を重点的に行っていくよう全事業計画の見直しを行い、具体的に実現していく事業を実施します。中でも学校給食における主要な農産物の検討並びに安定供給へのシステムの構築を研究します。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	「ほんまもん農産物」の普及による、販路構築、安定した生産に向けた栽培技術の向上は不可欠であり重点的に取り組む必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 25	農林振興課	有機農業推進室

事務事業名	地域おこし協力隊(有機農業)						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現							
	関連施策名 (施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	地域おこし協力隊制度を活用し、有機農業隊員として栽培研修、販売対策等の事業に取り組み、特に実証圃場での周年栽培や各種イベントでの「ほんまもん農産物」を販売し販路拡大に努めました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	協力隊員数	採用者数	人	1	3	2	3	2
		②	ひやくすた実施回数	実施回数	回	-	12	11	8	12
③										
④										
事業対象	有機農業の生産者	成果	地域おこし協力隊が中心となり臼杵石仏公園で毎月第一日曜日に「ほんまもん農産物」を中心とした朝市を開催しPRに繋がりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	ほんまもん農産物生産者数	ほんまもん農産物生産者数	人	44	54	62	63	80		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,180						7,180

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		「ほんまもん農産物」の安定供給と販路拡大のためには生産者の増加及び生産量の拡大が重要であり、生産者を育成するための地域おこし協力隊制度が必要です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		協力隊による「ほんまもん農産物」のPR活動や実践研修により、有機農業の基盤強化、担い手の確保に繋がります。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		協力隊として3年間の研修を終了後、独立自営の経営を行うことができますが、協力隊の制度上、研修時間が週30時間と限られるため、農業に必要な幅広い知識を学びにくい側面があります。	
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	協力隊の制度上、3年間で技術の習得、販路の確保、土地の確保、簿記のような経営に関する知識の習得等全てを網羅できないことが課題です。			
具体的な改善案	協力隊制度での技術習得に加え、イベント出展での販路の確保や希望品目を作付けする土地の確保、契約栽培への検討、簿記講座への参加による知識の習得等をカリキュラムに加えることで、独立した際に必要な知識・技能を習得するよう研修形態を改善します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	「有機の里うすき」の取り組みにおいて、担い手育成は最重点課題であり、地域おこし協力隊事業は、有効な手段として継続する必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 26	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農村地域防災減災事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備						
	関連施策名 (施策コード)								
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市内の防災重点ため池32箇所について、ハザードマップの作成を行い地域住民の人命を守るための減災対策の推進を行う。 防災重点ため池の10箇所において、ため池ハザードマップの作成を行いました。							
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値
					H29	H30	R1		
		①	ハザードマップ作成件数	作成件数	件	6	10	3	10
		②							
③									
④									
事業対象	該当地区	成果	ため池ハザードマップの作成により地域住民の人命を守るための減災対策の推進を図ることができました。						
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
	実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(補修要望があり市が工事する必要がある箇所)	%	H29	H30	R1	100		
				28	59	68			

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	3,762		3,274				488

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	ため池ハザードマップは地域住民の自助防災の役割として必要不可欠です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	地域の防災計画の見直しや防災施設整備などの対策にもつながります。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	ハザードマップの整備を行うことにより、今後のため池管理の効率を図れます。
事業の問題・課題	ソフト面の対策を行ったことにより、ハード面での対策を求められています。			
具体的な改善案	-			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由
------	----------------------	----

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 27	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	森林整備事業							新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名 (施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	森林・林業の再生に向け、平成29年度に「臼杵市森林整備計画」を樹立しました。この計画を臼杵市の森林整備のマスタープランと位置付、森林の経営者による40年間の長期計画及び5年ごとの実施計画を盛り込んだ「森林経営計画」の作成が必要となりました。しかしながら、本市での経営計画達成率は、以前低く経営計画作成推進は急務であります。また、市・議会・自治会・森林所有者と取り組んでいます水源涵養の維持・増進を図る施策については、今後も継続して取り組んでいきます。「100年の森林づくり」を実施するための、臼杵市森林整備計画を作成しています。また、木質資源の価値及び林業全般の収益向上に向け、木材集積場の整備を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
		①	森林経営計画の推進	臼杵市森林整備計画に基づく森林経営者への経営計画作成推進面積	ha	H29 6,741	H30 6,814	R1 6,957	5,318	18,981
		②	臼杵市有林の整備	臼杵市森林整備計画及び森林経営計画に基づく市有林の整備面積	ha	22	41	68	42	80
		③								
④										
事業対象	森林経営者	成果	森林経営計画の作成推進において、民間の協力により143haの合意形成を得られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	森林経営計画の認定面積増加	森林経営計画認定面積	ha	H29 6,741	H30 6,814	R1 6,957	5,318	18,981		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	18,337						18,337

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由 森林所有者が森林経営や管理を実行することは困難となってきました。計画区域近くの森林で、森林所有者が林業事業体へ森林施業を委託するよう推進する必要があります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が見られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	森林経営計画の作成により長期的な整備計画が可能となります。また、モデル地域を設定することにより臼杵市の水源が保たれます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	森林の所有者情報や境界の確定が遅れているため情報の収集や調査方法の検討が急務です。
	事業の問題・課題	担い手不足や素材生産業者の人員確保に早急に努める必要があります。	
具体的な改善案	臼杵市森林整備計画に基づき、効率的な森林整備につなげていき、林業就業希望者への研修や林業事業体への職場環境改善に向けた助成などにより、人員確保に努めます。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由 近年、分収造林の期限完了を迎える森林が多く、皆伐を避けるため、長伐期施業の方法で100年の森へと誘導し、自然景観形成をなすよう整備に取り組む必要があります。
------	------------------------	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 28	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		竹林再生事業						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト	
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵市には広大な竹林がありますが、現在その大部分が荒廃竹林として人の手のつかない状況となっています。一度荒廃した竹林を整備することは難しい上に他の土地に侵食し竹林の規模は大きくなり、状況は悪化していきばかりです。このような状況を改善するために、補助事業を活用し整備を行い筍採取等竹林を有効利用できる状態にします。荒廃した竹林を間伐し、筍生産に適した優良竹林面積が拡大しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	竹林再生面積	1年間の施業面積	ha	3	5	1	1	2
		②								
③										
④										
事業対象	荒廃竹林	成果	市内2カ所 0.87haの荒廃竹林の整備により、竹林の保全につながっています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	優良竹林への整備	1年間の施業面積	ha	3	5	1	1	2		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,136			1,136			

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	荒廃竹林整備対して注目や問い合わせが増えていきます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	竹林整備を行い、林内環境が改善され筍の収穫がしやすくなり、所有者の竹林を維持に対するモチベーションを高めることができています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	申請書類の作成及び現地確認など、申請者の負担軽減を図っていきます。筍生産に繋がる優良竹林整備のため、皆伐希望の方には補助金対象にならないことに対し、申請者との協議が必要となっています。
事業の問題・課題	チップ加工業者の工場休止などで、申請者の負担増が考えられたため、申請取り下げがありました。			
具体的な改善案	竹粉碎機の利用促進を市報等で周知する。チップ加工可能な工場を調査し、受け入れてもらうための条件を聞くなど、竹林整備の体制を整えます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	今後も継続して荒廃竹林を整備することで、筍生産だけでなく、野生動物の棲み処を少なくすることができ、農林産物の獣害減少にも効果があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 29	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(石場ダム)						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	石場ダムの用水施設・管理省力化施設は、昭和46年に建設され、これまで約49年が経過し、施設の老朽化により補修や維持管理に多大な費用と労力を要しています。農業水利施設保全合理化事業により維持管理費の節減及び施設の長寿命化を行い、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。石場ダム放流バルブ2基の改修及び田中調整池の測量設計委託を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	事業費負担額	国55%、県29.3%、市10.7%	千円	48,019	58,829	66,286	68,244	80,967
		②		10.7%の内臼杵市負担 76.5% 豊後大野市負担 23.5%						
	③									
④										
事業対象	農業従事者	成果	令和2年度は、放流バルブ2基の改修及び田中調整池の改修に向けた測量設計委託を行い、維持管理費の軽減及び農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	工事の進捗率	累計事業負担額/全体事業負担額	%	59	73	82	84	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	1,958				1,500		458

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	農業に必要な水利施設の整備を行うとともに、下流河川において水害の発生防止が図れるため、必要不可欠です。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
事業の問題・課題	ダムの改修工事という性質上、雨期に工事ができないため、工事の進捗に時間を要します。		
具体的な改善案	工事発注者である大分県と密に連携し、計画的な工事の進捗を図ります。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	老朽化した石場ダムの用水施設を計画的に整備することにより、維持管理費の節減と地域農業の生産性を向上させます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 30	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	未整備林整備促進事業						新規・継続 ソフト・ハード	新規 ソフト		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導							
	関連施策名 (施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進							
基本項目	事業内容 (経緯)	森林環境譲与税を活用した森林整備を実施するため、臼杵市内の未整備森林を把握するための調査業務委託及び令和2年度意向調査を実施しました。また、市が経営管理権を取得し、令和3年度に森林整備が可能な未整備森林の境界測量業務を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	未整備森林の整備	未整備森林の森林所有者へ意向調査を実施し、森林整備の推進を図る。	ha	-	-	-	12	80
		②								
③										
④										
事業対象	未整備森林の森林所有者	成果	未整備森林の森林所有者へ、森林整備に対する意向調査を実施しました。2名の森林所有者(面積12ha)と未整備森林整備における経営管理権を取得することができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	未整備森林整備面積の増加	未整備森林の経営管理権取得面積	ha	-	-	-	12	80		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	5,907						5,907

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	理由
		B A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	未整備森林のみ森林整備が可能であるため、森林組合に管理を委ねている組合員の森林は対象外です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	未整備森林に対する森林整備であるので、令和3年度から整備に入るように計画している。台風時の倒木や下刈り、作業道整備が可能となるので、良好な森林となる効果が得られました。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	国、県から配分される森林環境譲与税を活用し、森林整備を行います。未整備森林のエリアを選定し、その森林の所有者から、森林整備について効率よく意向調査を実施できました。
事業の問題・課題	市内の未整備森林について、各森林所有者の境界が明確になっていないのが現状です。また森林所有者名義が死亡者で、かつ未登記となっており、森林所有者を探索しなければなりません。		
具体的な改善案	未整備森林の管理境界を明確化できるように、森林環境譲与税を活用して、林業関係者及び団体に境界調査を依頼できるような体制を整える必要があると考えています。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	森林の有する地球温暖化防止や災害防止、水源涵養などの公益的機能を維持するためには、未整備林の整備にも取り組む必要があります。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 31	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		有害鳥獣捕獲事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名(施策コード)									
基本項目	事業内容(経緯)	有害鳥獣(イノシシ、シカ、サル、小動物等)の被害に対して、猟友会への捕獲依頼、獣害防護柵設置、電気柵設置などの事業を行いました。農林業生産者の生産意欲の向上促進のため、農産物等の被害軽減を図りました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6	
					H29	H30	R1	実績値	計画値	
		①	有害鳥獣捕獲による被害の防止	有害鳥獣捕獲事業における実績数	頭	4,807	4,500	4,620	4,692	4,500
		②	鳥獣侵入防護柵設置による被害の減少	防護柵設置地区数	地区	27	12	8	6	6
③	電気柵設置による被害減少	電気柵補助件数	件	16	27	23	29	30		
④										
事業対象	農林業者	成果	有害鳥獣捕獲については、前年比の捕獲数が伸びており被害の減少が図られています。侵入防護柵は、6地区で設置を行いました。電気柵設置についても29基の補助を行い被害減少が図られています。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2	R6		
				H29	H30	R1	実績値	計画値		
	農林作物の被害金額	臼杵市鳥獣被害防止計画の被害軽減目標	千円	4,626	5,591	4,883	6,943	4,500		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	36,228			24,824			11,404

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない		農林業生産者の経営基盤を構築し、活力ある農林業を行うため捕獲と防除(有害鳥獣捕獲、侵入防護柵設置、電気柵設置)を継続的に行う必要があります。
		A			
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		捕獲、侵入防護柵、電気柵を組み合わせることにより鳥獣被害から田・畑・山林を守り経営の健全化、所得の向上等が図られ効果が得られます。
A					
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		有害鳥獣捕獲事業、電気柵事業(県1/3、市1/3)、侵入防護柵事業(国100%)については交付金事業等で行っており、被害減少に関する取組の市負担額を軽減し、事業実施を行うことができます。	
	A				
事業の問題・課題	捕獲事業については、猟友会会員の高齢化による減少及び銃保持者の減少が課題です。侵入防護柵については、地区の高齢化が進んでおり設置および維持管理が課題です。				
具体的な改善案	捕獲事業について狩猟免許講習会の費用を補助し人員の確保を行えるようにします。侵入防護柵について地区全体での設置および定期的な維持管理計画を立てます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	猟友会の協力により、有害鳥獣捕獲による被害減少の効果は出ており、また、侵入防止策、電気柵の設置により獣害対策には有効です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 32	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	ため池等整備事業(廃止ため池)						新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	決壊すると下流域に重大な影響を及ぼす恐れのある、現在使われていない防災重点ため池について、水が溜まらないようにすることにより防災・減災を図ります。 ため池3箇所を廃止するための測量設計委託が完成し、その内1箇所のため池廃止工事及び1箇所の作業用道路の整備が一部完了しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	実施事業費(累計額)	ため池廃止工事	千円	-	-	5,542	26,271	34,100
		②								
	③									
④										
事業対象	地域住民	成果	老朽化したため池廃止工事により、災害時に決壊の恐れが無くなり地域住民の安全が図れます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	事業進捗率	累計事業負担額÷全体事業負担額	%	H29	H30	R1	77	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	20,729		20,000				729

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	理由
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	災害時に決壊した場合、地域住民への危険性が高まるため、使用していないため池の廃止工事は必要です。 堤体に貯水が出来なくなるようにする工事であり、決壊の危険性が無くなるため工事は有効です。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	過去に廃止したため池については、ため池下流域の水路整備等が残っています。
	事業の問題・課題	現在使用していないため池については、耕作者や地権者も不明なことが多く、工事で必要な作業用道路の整備に伴う用地の調整に時間を要します。	
具体的な改善案	地元区長、水利組合等に協力してもらい、スムーズに工事が進捗できるようにします。		

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	使われていないため池を廃止することで、下流域に住む住民の安心・安全を確保することができます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 33	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業用施設整備工事		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	農業用施設(農道・水路・ため池・頭首工等)の整備、修繕等を地元要望により実施します。 農業用水路、ため池等の13箇所において整備・修繕を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	工事件数	整備・修繕等の工事件数	件	10	13	9	13	13
		②								
	③									
④										
事業対象	農業従事者	成果	整備・修繕工事等により機能が改善され、農業生産の安定・拡大につながります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(補修要望があり市が工事する必要がある箇所)	%	H29	H30	R1	72	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	4,991						4,991

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な施設の整備であり、必要不可欠です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		施設整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定・向上が図られるため効率性は高いです。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	農業用施設の老朽化が進み、各地区からの要望箇所が多く、要望を頂いてから事業着手までに時間を要しています。			
具体的な改善案	要望箇所を再調査し、緊急性・必要性が高い箇所を選定して、1地区でも多く事業できるようにします。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農業用施設の整備は、農業生産の安定や生産性の向上に欠かせないものであるため、継続して取り組んでいきます。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 34	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		緊急自然災害防止対策事業					新規・継続 ソフト・ハード	単年 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	老朽化したため池2箇所の堤体部を改修及び補修を行い、災害の防止を図ります。 令和2年度は、ため池1箇所の設計委託が完了しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	実施事業費	ため池工事	千円	-	-	-	6,000	
		②								
	③									
④										
事業対象	農業従事者	成果	老朽化したため池の改修工事により、貯水機能が改善され農業生産の安定につながります。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	事業進捗率	単年度実施事業費÷全体事業費	%	-	-	-	10			

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	619				600		19

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		農業に必要な施設の整備であるとともに、災害防止にも繋がるため必要不可欠です。
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		貯水機能を向上する工事であり、実施すれば直ちに効果が得られます。
A		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定につながるため効率性は高いです。	
	A	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	ため池の老朽化が進み、補修等の要望箇所が多く、事業費が高価なため事業着手までに時間を要しています。			
具体的な改善案	-			

課長評価	事業目的達成による完了・完了予定(完了)	理由
------	----------------------	----

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 35	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		道路補修工事(野津地域)					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-51	交通安全対策の推進							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	野津地域内の市道の舗装補修、側溝補修及び小規模改良工事、その他維持補修工事を地区からの要望や突発的な破損等に対し、随時施工しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	工事件数	補修・改良等の工事件数	件数	15	9	21	14	20
		②								
	③									
④										
事業対象	市道利用者	成果	道路補修工事により、より安全な通行ができ、道路の排水処理が改善されます。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	実施率	工事実施箇所÷当該年度要望箇所(実際に補修要望があったものに対する割合)	%	H29	H30	R1	28	70		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	11,830						11,830

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	市民生活に密着した市道の補修であり、必要不可欠です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	市民の安全を守るための補修工事であり、部分的ではあるが、道路機能の維持延命が図れ、道路機能の長期維持が期待できます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	地区要望や突発的な破損等に迅速に対応するため、低コストの工法検討を行い、処理できています。
事業の問題・課題	予算に対して要望箇所が多く、対応しきれない面があります。			
具体的な改善案	コスト削減に努め、優先順位を決めて計画的に実施します。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	市民生活の安心・安全を確保するため、今後も市道の維持補修は必要な事業です。
------	------------------------	----	---------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 36	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名	農業水利施設保全合理化事業(乙見ダム)						新規・継続 ソフト・ハード	新規 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	乙見ダムは、昭和45年に建設され、これまで約50年が経過し、ダム内の土砂堆積により維持管理に多大な労力を要しています。農業水利施設保全合理化事業により維持管理費の節減及び施設の長寿命化を行い、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。 令和2年度は、工事に向け測量設計委託及び地質調査を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	事業費負担額(累計額)	国55%、県29.3%、市15.7%	千円				7,607	86,100
		②								
成果指標	事業対象	農業従事者	成果	令和2年度は、測量設計委託及び地質調査を行いました。今後工事発注することにより、施設の長寿命化を行い、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることができます。						
	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
	工事の進捗率	累計事業負担額/全体事業負担額	%	H29	H30	R1	9	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,607				7,600		7

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	農業に必要な水利施設の整備を行うとともに、下流河川において水害の発生防止が図れるため、必要不可欠です。
		A		
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	農業生産安定のための工事であり、実施すれば直ちに効果を得られます。
A				
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	施設整備を行うことにより、維持管理の低減と農業生産の安定・向上が図れるため、効率性は高いです。	
	A			
事業の問題・課題	ダムの改修工事という性質上、雨期に工事ができないため、工事の進捗に時間を要します。			
具体的な改善案	工事発注者である大分県と密に連携し、計画的な工事の進捗を図ります。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	乙見ダムの堆積土砂を撤去することは、貯水容量の確保と適正なダム操作をおこなうには、欠かせないものであるため、積極的に取り組む必要がある。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和 2 年度)

番号	課名	グループ名
E - 37	農林振興課	農林基盤整備室

事務事業名		農業用施設改良資材費(生コンクリート)支給事業					新規・継続 ソフト・ハード	継続 ハード		
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	関連施策名 (施策コード)									
基本項目	事業内容 (経緯)	市内の各地区より農道の補修、整備の要望があった場合、公共工事として施工することが困難な事案については、それぞれの地区より原材料(生コンクリート等)の支給申請書を提出してもらい、各地区で補修、整備を行うものです。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値	
					H29	H30	R1			
		①	申請地区数	支給申請書提出地区	地区	106	105	105	97	105
		②								
③										
④										
事業対象	農道利用者	成果	公共工事の及ばない道路の補修、整備を行うことができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R2 実績値	R6 計画値		
				H29	H30	R1				
	申請地区に対する支給率	申請地区に対して実際に支給を行った割合	%	100	100	100	100	100		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	18,347						18,347

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により実施できるので必要な事業と思われます。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	公共工事の及ばない農道の補修、整備が原材料の支給により地区内の道路が整備されるため、利便性の向上が図られます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	公共工事として施工せず、原材料の支給のみとしていることから、工事に係る諸経費を削減できています。
事業の問題・課題	農村地域の後継者不足や高齢化により、原材料支給での農業用施設を整備することが困難になると考えられます。			
具体的な改善案	引き続き、農業用施設補修の事業化の検討を行います。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	農道の舗装を地元施工により実施することで、通行者の安心・安全を確保でき、今後も必要な事業です。
------	---------------	----	---